

令和2年度 第1回直方市高齢者保健福祉協議会 議事録 (要点筆記)

開催日時：令和2年7月30日(木) 13:30～15:00

会場：直方市役所8階 大会議室

出席委員：鬼崎委員、菅原委員、河野委員、阿部委員、駒山委員、中村委員、財部委員、
吉田委員、山口委員、加留部委員、田代委員

欠席委員：なし

傍聴者：なし

■次第

- 1 開会
- 2 委員委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 委員紹介
- 5 事務局紹介
- 6 会長・副会長選出
- 7 会長ごあいさつ
- 8 議題
 - (1) 第8期介護保険事業計画基本指針について(国の動向)
 - (2) 令和元年度実施の調査結果報告(概要)
 - (3) 直方市の現状分析
 - (4) 計画概要について
 - (5) 第7期計画の進捗状況の報告
 - (6) 今後のスケジュールについて
- 9 その他
- 10 閉会

■資料

- 配布資料No.1 第8期介護保険事業計画基本指針について
配布資料No.2 令和元年度実施の調査結果報告(概要)
配布資料No.3 直方市の現状分析
配布資料No.4 計画概要
配布資料No.5 第7期計画の進捗状況の報告
配布資料No.6 今後のスケジュールについて

■議事録について

- ・議事録は、次第に沿って要点筆記方式で作成した。
- ・議題に関する発言をいただいた委員名は記載していない。

■議事録

1 開会

(事務局より開会のあいさつ)

2 委員委嘱状交付

(大塚市長より、委員を代表して鬼崎委員に委嘱状を交付)

3 市長あいさつ

(大塚市長よりあいさつ)

4 委員紹介

(各委員より自己紹介)

5 事務局紹介

6 会長・副会長選出

(事務局より、直方市高齢者保健福祉協議会設置規則に基づき立候補者を募る)

○B 委員

会長・副会長の選出は事務局に一任してはどうか。

(他の委員も賛同)

(事務局の推薦により会長・副会長を選出)

7 会長ごあいさつ

(会長よりごあいさつ)

8 議題

(1) 第8期介護保険事業計画基本指針について（国の動向）

○事務局

介護保険制度の流れ、第8期介護保険事業計画基本指針素案について説明

○会長

介護保険事業計画の沿革と見直しの論点について説明があった。

今期計画は目前に迫った2025年問題に加え、2040年問題も踏まえた長期スパンで考えていく必要がある。

委員からの意見、質問はあるか。

【議題（1）に関する質疑応答】

なし

(2) 令和元年度実施の調査結果報告（概要）

○事務局

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査の結果について概要を報告

○会長

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査と在宅介護実態調査の調査結果報告の概要について報告があった。

調査の結果を踏まえ、今回の介護保険事業計画の策定に取り組むことになる。

委員からの意見、質問はあるか。

【議題（2）に関する質疑応答】

○H委員

在宅介護実態調査は訪問、聞き取りで実施しているが、回収率が50%を下回っているのはなぜか。

○事務局

在宅介護実態調査は、調査期間中に要介護認定の更新をされる方を対象に、外部委託せず市で実施した。介護支援専門員に協力を要請したものの、回収が難しかったケースが発生した。前回の回収率は49.8%であった。

○H 委員

調査を基礎資料として計画を策定するにあたり、訪問・聞き取りで回収率が半数を切るのは少ないのではないか。

○事務局

事業所へ介護支援専門員に協力を要請したが、協力が十分でなかったことは反省点。他、認定調査員に依頼した分は回収率が良かったため、次回以降の改善点として対策を考えたい。

○会長

事務局には反省点をふまえて改善に努めていただきたい。
他の計画策定のため調査でも同様に気を付けていただきたい。

(3) 直方市の現状分析

○事務局

直方市の現状、高齢化率の推移、要介護認定者数の推計、給付費の内訳と推移について説明

○会長

認定者のうち、軽度は増加傾向、重度は減少傾向にあるのではないか等、推計に基づく数字が示された。

委員からの意見、質問はあるか。

【議題（3）に関する質疑応答】

なし

(4) 計画概要について

○事務局

計画の概要、策定の趣旨、計画の位置づけ及び目的、計画の期間、計画の策定体制について説明

○会長

介護保険事業計画の制度的な位置づけや目的について説明があった。
関連計画として高齢者福祉計画を一体的に策定することも説明があった。

委員からの意見、質問はあるか。

【議題（４）に関する質疑応答】

○D 委員

コロナの影響でサービスの利用控えが発生している。
計画策定の背景も含め、現状をふまえた計画を策定していただきたい。

○会長

コロナ等を原因としたサービスの利用控えや生活様式の変化に、事務局も十分に配慮していただきたい。

【議題（４）に関する事前質問への回答】

質問１：資料に専門的な数値等が出ているが、計画策定にあたって委託はしているか。委託している場合は、とりまとめの際に現状に則さないものとならないか。

回答１：専門知識が必要となる部分は外部に委託。資料等は事務局と協議のうえ、直方市の実情に応じた物を作成し、確認している。

質問２：老人福祉法に基づくと記載があるが、専門的なので解説を入れて欲しい。

回答２：次回以降、必要に応じて注釈をつける等、対応する。

質問３：計画の目的について、実現するための道筋はどのようにつけるのか。

回答３：計画素案を提示する段階で、第２回協議会以降に協議を重ねていく。

質問４：委員会による議論についてとあるが、市民代表の選出方法は。

回答４：各団体より代表の方に委員を依頼している。その他、令和２年４月に市報と市ホームページにて委員を公募し、事務局と面接を行った結果、今回１名に参画いただいた。

質問５：協議会で議論されたことについて周知する方法は。

回答５：協議会終了後に、議事録を作成し市ホームページに掲載して市民に広く周知する。

○会長

傍聴や議事録の作成と公開について事務局から委員へ図ることになっているが、説明が無かった。事務局の考えはいかがか。

○事務局

市で実施する会議や協議会はすべて公開し、傍聴も可能。傍聴希望者がいた場合に会議でお返りするものである。今回は希望者がいなかった。

(5) 第7期計画の進捗状況の報告

(事務局より資料に基づき説明)

○会長

現在進行中である第7期計画の現時点での評価について説明があった。
委員からの意見、質問はあるか。

【議題(5)に関する質疑応答】

○A委員

調査結果を基に計画を策定するにあたり、回収率が低いのは課題である。介護従事者の意見も計画策定に取り入れる等、改善できるように対応していただきたい。

○事務局

在宅介護実態調査の聞き取りをケアマネジャーに依頼した経緯は、モニタリング等で訪問の機会が多く、利用者と密に連携されている点で、より多く回収できると考えたため。国の手引きでは、認定調査員を基軸として調査を実施することとなっていることから、今後の反省点として改善に努める。

○A委員

コロナの影響下で計画を策定せざるを得ないのは致し方ない事であるが、サービスの利用控えもある中、還元されていない給付費等も含め、サービスや給付費を臨機応変に活用できるような体制を整備する必要があるのではないか。

○事務局

計画策定で最も重要なのは3年間の介護保険料を決める作業。給付費は介護保険料を原資とした歳出であるため、本来であれば給付費と保険料は一体になるべき。しかし、今回のような不測の事態によって利用控えがあり、給付費が抑制されていることについては、考慮する必要がある。予算の範囲内の事業運営には可能な限り介護サービスを利用しやすいように金額を決定することも検討すべき。更に、必要に応じて委員の皆様にご協力いただき保険料を再検討する

等、できるだけ柔軟に対応する必要もある。

○H 委員

現状と課題の部分に具体性が薄いと感じる。現状に書かれている取り組みも、十分取り組めていないものもあると感じる。今後の計画策定でより強力に進めて欲しい。

○会長

第7期計画の振り返りで、3つの目標とそれに基づく取り組みの評価を報告いただいた。指摘があがった通り、取り組みが十分でないものは第8期計画策定の中で検討してもらいたい。

次回以降の協議会でも、委員にはより多くの意見をいただきたい。

(6) 今後のスケジュールについて

○事務局

今後の計画策定スケジュールについて説明

○会長

コロナの影響で開催日の調整や会議形式の変更の可能性があることを説明いただいた。

委員からの意見、質問はあるか。

【議題（6）に関する質疑応答】

なし

9 その他

○事務局

第2回協議会の日時について事務局より提示

- ・ 第2回直方市高齢者保健福祉協議会
日時：9月24日（木）13:30～15:00
場所：市役所8階 大会議室

10 閉会